

奈良県景観サポーター

受け入れ 実施報告

10月1日(木)、今年で4回目となる奈良県景観サポーター基礎講習の実習受け入れを当会ならやまベースキャンプにて行いました。

当初予定されていた9月17日(木)は雨のため中止。背水の陣で臨んだ今回は関係者の皆様の気迫勝ち。今にも泣き出しそうな曇り空の下、それでも何とか降雨にさらされる事無く、無事里山における実習を実施する事が出来ました。

参加者は、奈良県各地から応募され参加された



受講生9名、奈良県景観・自然環境課から職員の方が6名、合計15名の方が参加されました。

当会の景観サポーター基礎講習実習受け入れは、3年前の平成24年に遡ります。「景観サポーター」の景観づくり体験を当会で引き受け、参加者の皆さんと景観作りの苦労話も含め意見交換をする事を目的に実施され、これまでに66名の方がこの活動に参加され景観サポーターとして県に登録されております。

まず初めに、本日の作業内容の概要説明、安全

に対する講話を聴いて頂き、その後3班に分れ里山に入山。決められたエリアにて里山保全活動



としての樹木の伐採作業を経験して頂きました。各班3~4名+県職員1名の編成にて、緊張した面持ちの中、ソヨゴを中心に手ノコ、剪定鋏等を使い伐採整理作業に従事して頂きました。

既にご経験が有り手際よく切り進める方、意識しながらもツイツイのこぎりの刃先角度が思う方

向に定まらず四苦八苦する方、人それぞれ。

女性の方も3名含まれておりましたが男性陣に交じり堂々と作業を進めておられました。

里山作業を体験し、心地よい汗を流した後は、ベー



スキャンプへの帰路、当会が進めているナラ枯れ対策、萌芽実験の現場も見て頂き、環境・景観保全の難しさ、重要性を実感して頂きました。

昼食時には、当会自慢の具沢山の味噌汁と(当会を代表する料理人)池田さんの手による特別料理「鯛の握りずし」をご賞味頂きました。

その後残された時間を利用し、当会役員並びに設立当時から役員経験者の皆さんとこれまでの苦労話や楽しかった思い出話等をご歓談頂きました。皆様一様に当会の広範な活動内容と規模の大きさに驚かれておりました。

これからのヒントとなるアドバイスをと言う事で、実戦的な質問多く、全ての問題に解決を求めるが如く、果ては行政に対する注文まで多岐に渡りました。

中には、大学就学中の受講生の方もいらっしやり、お互いの世代



に対する期待感、世代を超える会話に花が咲きました。

天候を気にしながら進めた今回の活動も気が付けば知らぬ間に予定の3時を迎え、どなたも満足そうな表情で今回の講習を修了され、ベースキャンプを後にされました。

里山グループの皆様はじめ今回の受講生受け入れにご協力頂きました会員の皆さんに心よりお礼申し上げます。

“有難う御座いました”

(事務局:辻本信一)